

# 「掛川市地球温暖化対策地域推進計画」が策定されました。 (かけがわ”地球との約束”行動計画)

掛川市域全体からの温室効果ガス発生を抑制するため、  
家庭や事業所、行政が協働して地球温暖化対策を推進!!

## 1. 目的

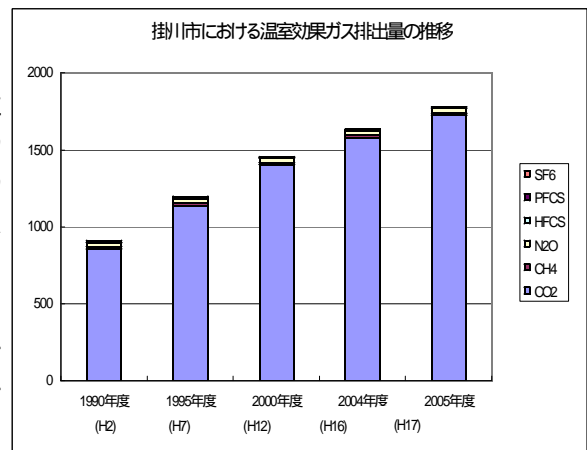
「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本年度、掛川市も市域全体から排出される温室効果ガスを削減し、地球温暖化対策を進めるため、「地球温暖化対策地域推進計画」(かけがわ”地球との約束”行動計画)を策定した。

県内の市町では、静岡市と掛川市が本年度、初めての策定となる。

## 2. 掛川市の温室効果ガスの排出状況

平成17年度(2005)の温室効果ガス排出量は、1,780千 t-CO<sub>2</sub> で、京都議定書基準年の平成2年度(1990)の排出量と比べ、約2倍の増加となっており、二酸化炭素が96.9%とほとんどを占めている。

温暖化対策を行わなかった場合、平成24年度(2012)の温室効果ガス排出量は、平成17年度(2005)から16%程度増える見込み。



## 3. 掛川市の温暖化防止の計画

### (1) 「地球温暖化防止実行計画」(スマート・オフィス・プラン)

市役所(出先機関、学校も含む)から排出される温室効果ガスの削減。

県内全市町が策定済み。

(策定：平成13年3月、平成11年度比 - 6.6%を達成)

### (2) 「地球温暖化対策地域推進計画」(かけがわ”地球との約束”行動計画)

目的 市域全体から排出される温室効果ガスの削減。

市民・工場事業所(農業や商店、事務所も含む)・行政の全てが対象。

策定日 平成20年3月(H18：温室効果ガス排出量調査、H19：計画策定)

策定方法 計画策定の周知を図り、広く市民の意見を取り入れ、実効性のある計画を策定するため、様々な意見聴取の場を設けた。

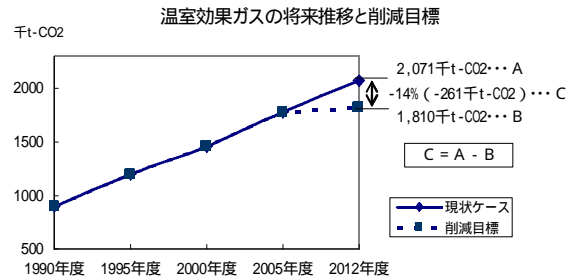
- ・ワークショップの実施(20回、延べ283名参加)
- ・地域SNS「e-じゃん掛川」の活用
- ・市民意見の募集の実施
- ・企業へのアンケート・ヒアリングの実施
- ・環境審議会の実施

計画期間 平成20年度（2008）～平成24年度（2012）の5年間。

計画目標 平成24年度の温室効果ガス排出量を、平成17年度(2005)比 + 2 %に抑制。

削減の内訳

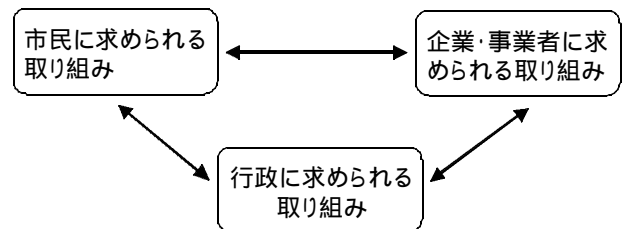
国・県と連携による削減量  
 165.6千 t-CO<sub>2</sub> （9%）  
 森林による吸収量  
 35.4千 t-CO<sub>2</sub> （2%）  
 市独自の施策  
 60.2千 t-CO<sub>2</sub> （3%）  
 計 261.2千 t-CO<sub>2</sub> （14%）



対象ガス 温室効果ガスとして指定されている6種。  
 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化イオウ

計画範囲 掛川市全域の日常生活や事業活動など、全ての活動が対象。  
 (東名、国道一号、JR等の通過交通からの温室効果ガスは除く)

取組み 市民・事業者・行政が、現状を認識し協働して取り組みを推進し、発展しつつも環境負荷の少ない新たな地域社会の構築を目指す。



重点施策（リーディング・プロジェクト）

No	施策名	対象	削減目標
1	みんなで広げよう「地球家族」の環プロジェクト	家庭	14,800 t -CO <sub>2</sub> / 年
2	掛川市ごみ減量大作戦 Step 2	廃棄物	1,300 t -CO <sub>2</sub> (H24時点)
3	エコ・スクールプロジェクト	学校	200 t -CO <sub>2</sub> / 年
4	かけがわエコポイントプロジェクト	全体	10,000 t -CO <sub>2</sub> / 年(重複計上)
5	かけがわ事業所エコプロジェクト	事業者	2,600 t -CO <sub>2</sub> / 年
6	STOP温暖化パートナーシップ協定	事業者	93,200 t -CO <sub>2</sub> / 年(国施策重複計上)
7	「太陽と風」と「市民と企業」のカプロジェクト	新エネ	41,300 t -CO <sub>2</sub> / 年

計画の進行管理および点検・評価

- ・温室効果ガス排出量等の迅速な把握と年次報告書の作成
- ・掛川市環境マネジメントシステム（ISO14001）による各施策の進行管理
- ・掛川市環境審議会による点検・評価